

事業成果報告書

1. 個人または団体名(団体の場合は代表者名も記入)	
真野 豊	
2. 研究または活動のテーマ(課題名)	
『性の多様性を前提とした学校教育の開発』の出版	
3. 助成額	
500,000 円	
4. 実施期間	
2019 年 7 月 ~ 2020 年 11 月	
5. 実施状況	
2019 年	
7 月初旬	出版助成の決定を出版社へ報告
7 月下旬	出版社(松籟社)と今後の進め方について確認
7 月下旬~	原稿の再構成および加筆修正作業
2020 年	
4 月下旬	出版社へ原稿を入稿
6 月初旬	出版社からレイアウト見本が到着
6 月下旬	竹村和子フェミニズム基金事務局へ「助成金事業変更願」を提出
7 月中旬	出版社から初稿が到着
7 月下旬	出版社と相談のうえ書名を『多様な性の視点でつくる学校教育——セクシュアリティによる差別をなくすための学びへ』に決定
8 月中旬	原稿を校正して出版社へ提出
8 月下旬	出版社から第二稿が到着
9 月初旬	装幀デザインについて打合せ
9 月下旬	原稿を修正して出版社へ提出
10 月中旬	出版社から最終稿が到着
10 月下旬	原稿を修正して出版社へ提出・装幀の決定
11 月初旬	印刷および製本
11 月 25 日	松籟社より刊行

6. 事業成果と自己評価

(1) 事業成果（成果物の詳細）

四六判・上製・352頁・縦組み

初版発行部数：1000部

発行日：2020年11月25日

発行元：株式会社松籟社

本体価格：2600円

(2) 自己評価

原稿の修正に時間を要し、当初の出版スケジュールを変更せざるをえなかったが無事に刊行することができた。本書は、異性愛規範やジェンダー規範を前提とした日本の学校教育を見直し、多様な性の視点から再構築する試みである。セクシュアリティが人権であるという前提に立ち、性が持つ多様性を排除するのではなく、むしろ生き方や社会を豊かにするうえで欠くことのできないものと捉える。本書は、このような性の多様性を尊重する立場から、学校教育を作り直すことに挑戦するための理論と実践である。さらに、本書には、同性愛をカミングアウトして教員を務めた私が試みてきた実践やカミングアウトによって、子どもたちや保護者がどのように変わっていったのかも綴られている。

本書には、多様な性を前提とした学校教育を行ううえで必要となる理論や具体的な支援方法および授業方法、さらに教職員研修の方法も示した。これにより、多様な性を前提とした教育を試みようとする教員たちの実践を後押しすることができると考える。本体価格も比較的安価に設定することができ、広く学校教育に携わる人々や教員養成の場面での活用が期待できる。

7. 提出成果物

出版助成を得て刊行された書籍

書籍名：『多様な性の視点でつくる学校教育——セクシュアリティによる差別をなくすための学びへ』

著者名：眞野 豊

